

令和 2 年度 第4回図書館協議会 会議録

- ◎開催日時 令和3年(2021年)2月21日(日)午前10時~12時
◎開催場所 野洲図書館 本館 フリースペース
◎出席者 図書館協議会委員 9名(早川久登委員、松山裕子委員、五十嵐芳子委員、遠藤正一委員、川端初美委員、下谷龍王委員、高野真知子委員、高畠謙治委員、吉野澄子委員)、事務局 2名(図書館長、司書)
(欠席委員 1名・國松完二委員、傍聴者 1名)

*配布資料について

ここに掲載した以外の資料については、図書館本館および中主分館で、図書館協議会議事録とともに公開しています。

1. 開 会

2. 議 事

(1) 学校文庫用図書セット「としょかんBOX」巡回について
事務局より説明

602 人の子どもたちの投票の中から、名称を「としょかんBOX」に決定。この名称を応募してくれた三上小 2 名の児童を表彰した。小学校に配置済。今年度中に予備の図書も購入予定。実物の箱提示。

【委員】としょかんBOXに入れた本の選定は図書館で行ったのですか。先生や児童の希望も入れたのですか。

【館長】選書は図書館で行いました。物語だけでなく、すべてのBOXに図鑑等の知識の本や絵本も入れました。特別支援学級については、各校 1~2 箱に 1 年生から 6 年生対象のものを入れていますが、こちらについては学校によって要望が様々だと思われるので、運用していく中で「としょかんBOX」とは別に個別に対応していきたいと考えています。

【委員】その「としょかんBOX」の箱は作業用の箱のように見える。もっとかわいくならないのですか。せめて別の色はなかったのでしょうか。それから箱の中の本の内容は同じものなのですか。

【館長】いろいろさがしたのですが、耐久性を重視したため、この箱になりました。この箱なら図書館でこれまでも使っているコンテナなので、丈夫であることがわかっています。箱の内容は全て違っています。BOXは巡回させていくので、子どもたちがいろいろな本が楽しめるようになっています。

【委員】子どもたちに、塗ったり貼ったりしてもらったら箱がかわくなるのではないのでしょうか。本の扱いについては、給食中は読まない、手を洗ってから読むなど、学校から指導してもらうのですか。

【館長】たいせつにして読んでください、という注意書きは箱に貼りました。

【委員】巡回が年 5 回というのは、春休みと夏休みの間に 2 回、夏休みと冬休みの間に 2 回、冬休みと春休みの間に 1 回を想定しているのですか。

【館長】5 月、7 月、10 月、12 月、2 月の 5 回を予定しています。

(2) 令和2年度利用者アンケートについて

事務局より説明

感染症対策のため、例年のようにロビーでアンケート用紙を手渡しするのではなく、貸出時に本にアンケート用紙をはさみ込んで渡した。返却時に持参されることを想定してアンケート回収期間を4週間弱と長めに設定している。まだ回収期間中であるが、回収数は昨年度の590枚より多い。集計はまだであるが、自由記述として次のものが目立った。要望としては、開館時間の延長・自習席・市外在住者のリクエスト受付・カフェ設置の要望、駐車場の整備。他には、借りたい本が貸出中である、在架予約を続けてほしい、この図書館があるので野洲に住み続けたいが車に乗れなくなったら来にくくなる、野洲図書館は進化している、日本一の図書館などのご意見もあった。

【会長】在架予約は、今後も続けていくのですか。

【事務局】未定です。

【委員】交通の便については、喫緊の問題です。車に乗れなくなったら来られなくなる。図書館が今後どう支えていくのか。交通、バス、もっと他にもどういう形で本をいきわたらせるのか、しっかり検討していかないといけない。近所に元気な人がいるのですが、車に乗らない人なので来られない。現在の循環バス「おのりやす」では、乗り換えないと図書館に来られない地域もある。交通の不便さがあると読みたくても来られない。このことについては、(車に乗らない人が増えてくる高齢化の)時代なので検討してもらいたい。

【委員】新刊は貸出中なので借りたくても借りられないことが多い。あきらめて購入している。人気があがってきている本は追加して購入する等、予約数などをチェックして購入しているのですか。

【事務局】毎週、予約数が多いものはチェックして複本を購入している。

【委員】図書館にいう話ではないかもしれないが「おのりやす」のあり方で要望があります。「おのりやす」は、今はまんべんなく走るために時間がかかっている。ニーズ調査をきちんとして、直行便を作るなど、どういう路線に集中するかなどを検討してはどうでしょうか。

【館長】担当課に伝えます。

【会長】コミセンを通じたサービスについてはどうですか。

【館長】コミセン事務局に3月からご意見を伺う予定です。

【委員】コミセンも利用できればいいと思いますが、移動図書館はどうでしょうか。不便さを乗り越えて来てもらうだけではなく、図書館が出かけていくことも考えるべきだと思います。市民からも声を拾い、これから先にも声を出し続けながら市民の声を顕在化させて行政を動かしていくことが大事です。

【委員】さまざまな要望がありますが、実現しようと思ったら、図書館職員の増員や、サポーターを募るなど、人員のことも同時に考えなくてはいけない。今のままでは難しい。

【委員】移動図書館のボランティアなど、図書館でボランティアを希望している人はどれくらいいるのか把握していますか。

【館長】そのことについては調査していません。まずは行政の方でどれだけできるか、というところからだと思います。

【委員】移動図書館は、大津でも導入したし、近江八幡でも開始予定しています。京都でも人気との新聞記事を読みました。高齢化社会において必要なのではないかと思います。

【会長】「おのりやす」に本を載せて、近くの停留所まで取りに来てもらうなどの案も（図書館協議会で）以前から出ています。

(3) 令和3年度予算について

事務局より説明

今年度（2年度）と大きく変わったのは、図書整備費の270万円の減額。国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」1,000万円が今年度予算化されているが、来年度の資料費の代りにはならない。

【委員】厳しい状況でも、学校司書のことは言い続けていかないといけない。司書が増えるのは、大きな効果がある。

【委員】校長会などで、学校司書を配置して欲しいと言っています。

【委員】学校図書館は大事です。虐待を受けているような、図書館に連れて行ってもらえない子が、学校図書館では情報を得られる。福岡伸一氏がドリトル先生の本を読んで生物学者を志したように、学校図書館は、子どもたちの将来選択にもかかわる。20年、30年後のことを考えたら、小学校の学校図書館は特に大切です。

【委員】学校司書が配置されるまで言い続けるしかない。滋賀県では野洲市にだけ学校司書がないので、再考してほしい。今は、図書室で隠れたりいたずらをする子がいるので、鍵をかけようという動きもある。学校図書館は知識の大切なオアシス。基本的な考え方として図書館協議会からも発信しながら言い続けるしかない。

【委員】他の市町では、特別支援教育学習支援員と学校司書と両方配置されているところもある。野洲はなぜ両立できないのでしょうか。

【委員】特別支援教育学習支援員と学校司書を同じくりにしていることがおかしい。別に予算がつくとよい。

【館長】実際には特別支援教育学習支援員をつけているから学校司書が配置されないのではなく、そういう論法で要望の取下げを求められているだけです。学校司書を配置したいのなら公共図書館の予算を削ったらできる、と言われることもあります。特別支援とか講師など、学校にとってはとても大事な譲れないところを出してきて、そこを削るなら学校司書が配置できるというのは、そのように言えば引き下がると思われているのでは。実際には、市全体の予算の中で優先順位が高いと思われるものからつけていったら、予算がなかったということだと思います。

【委員】以前は、図書館協議会に教育委員会の方が出席してくれていた。図書館協議会でどのような意見がでているか聞いてほしいので、また図書館協議会に参加してもらえないでしょうか。

【館長】伝えておきます。

【会長】図書費は、今までで最低額です。新しい資料がないと、利用は落ちる。日本一使われている図書館で資料費が下がるのは理不尽。以前提示した統計資料で、（全国の人口別の図書館の資料費や利用等がランキングされた資料 第3回図書館協議会資料参照）野洲は、資料費は19番目なのに、貸出は1番です。ここを強調しないといけない。来年度の予算が前例にならないように望む。

【委員】生涯学習スポーツ課は、いろいろなことをしています。今は特に、聖火リレーと国体もしている。図書館の比重も上げてほしい。

【委員】市長は、この図書館（の利用）が日本一だと知っているのか？

【館長】まだ市長には報告していません。今年度の報告と一緒にお知らせします。

【委員】利用者アンケートに、この図書館があるから野洲に住み続けたい、とあった。どこに住もうか考えている人にとっても野洲図書館はアピールポイントになる。

【委員】県でも読み解く力の育成に力を入れています。読書の必要性も併せてアピールしたらよい。

(4) 令和3年度事業方針について

事務局より説明

今年度と違うのは、「としょかん BOX」と多文化サービスを入れたところ。新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着けばリースペースの開放を予定。大西暢夫さんの写真パネル展示を予定。

職員については、正職員が1名退職、障がい者雇用の職員が1名退職予定なので募集中。

【委員】方針・予定の最初の文章の中に、コロナの状況下にあることを盛り込んで、状況によっては変更することがあるということを書いておいた方がよいのではないですか。予定にいろいろ書いていても実際には開催できないことが多いとわかりにくい。

【館長】そうします。

【会長】おはなし会は、早い復活を望みます。

【委員】コロナ禍で、今まで通りのサービスができるのか。新しいことは年単位で計画していったはどうでしょうか。

【館長】資料提供はサービスの基本なので、コロナ禍でも続けます。その他のことは先ほどのご意見のように、コロナの状況によることを書いておきます。

【委員】学校では「可能な限り工夫して実施します」という文言をよく使います。

【委員】これはできないだろうという行事は、はずしておいてもよいのではないですか。載せておいて実施されないのがっかりする。

(5) その他

委員から出版状況を関連させた統計資料が提示される。(公共図書館の蔵書冊数別・開館日数別の図書館数、

分野別の書籍新刊点数と平均価格、野洲図書館蔵書構成と書籍新刊点数構成比の比較、野洲図書館の年齢別貸出冊数等)

【会長】全国的に、開館日数が増えている。野洲でも増やせないですか。祝日を開館して、その翌日休館にしてはどうでしょうか。以前に祝日に開館しても利用は少ないと館長から聞いたが、守山図書館で先日の祝日に行ってみたら利用者は多かった。祝日の利用は平日より多いように思う。年齢別の貸出冊数については、60代以上の利用が多いと思っていたが、一人当たり9.3冊の貸出と少ない。60代以上の人口は多いので、ここをターゲットにしたら利用が増えるのではないのでしょうか。交通の便は課題です。

【委員】(分野別の蔵書については)野洲図書館は5類の技術・工芸が多く、選書でマニアックな職員がいて選んでいるのかしらという気がする。3類の社会科学が少ない。

【館長】マニアックな本を職員の選書で選ぶことはない。この本は野洲市ではあまり使われないか、と思われるものは毎週複数の職員で協議して選書している。あまり専門的なものは入れられないが、ある程度踏み込んだ本がないと蔵書に深みが欠ける。

【委員】図書館での蔵書構成に(全国の)基準はあるのか。

【館長】ありません。それぞれの図書館によります。

【委員】認知症対策としては大活字本が効果がある。高齢者施設と連携してはどうでしょうか。

【委員】子育て・福祉の部門との連携について。子どもの習い事の送り迎えをしてほしい人と、してもよい人のマッチングをするような仕組みがあります。コロナ禍に家で待機している人に食材を届ける仕組みもあります。こういった仕組みに図書館の本を届けたり、図書館に来たい人の送り迎えボランティアを募集したりすることを組み込むことも考えられます。連携して発信してはどうでしょうか。

【委員】図書館協議会では委員が熱い思いを持っていて勉強になりますが、教育委員会とは温度差がある。なんとかしていかないといけない。

【委員】私はびわこ博物館の協議員もしています。琵琶湖は世界に誇れるのに、びわこ博物館はマニアックな狭い領域の方向に進んでいる感じがするので、そうした意見も出している。図書館についても、野洲図書館は全国に誇れる図書館なのだから、高齢者施設にアプローチしてみるなど、つながっていく、広がっていく方に進んでほしい。

【委員】身内が脳梗塞で言語障がいが残ったのですが、家に帰ってきて小さな子どもたちもいる家族と住むようになってから、語彙が増えたということがありました。生活の中で家族が会話をしているのを聴いているだけでも、脳に良い刺激になって徐々に回復してきたように思いました。ことばには力があります。大活字本の効果などをもっとアピールすべきと思います。

【委員】高齢者施設では、春にお花見があります。そのコースに図書館を組み込んでもらって大活字本にふれてもらうとか、読み聞かせも図書館でしてもらおう等はどうでしょうか。施設に出かけての読み聞かせはしているようですが、図書館に来てもらうよい機会になると思います。フリースペースも生かせるのではないのでしょうか。

【会長】書架に、その書架の本でないものが置いてあることがあります。本を戻そうとしても棚がわからなくなる人がいるのではないのでしょうか。そういった本を置くコーナーがあってもよい。

【委員】書架に本が詰まりすぎていることがある。それで戻そうとしても入らないことがあるのではないのでしょうか。

【委員】絵本架は特にきつい。子どもは戻せないと思います。

【館長】書架には本を詰めすぎないようにしなければならぬので、気をつけます。

【委員】「としょかん BOX」の箱について先ほど作業用の箱のようだというご意見がありましたが、はっきり違いがわかる箱なので、発達障害の人にも見てわかる、わかりやすいのではないかと思います。これは他の人にもわかりやすいので、よいのではないかと思います。

【委員】この箱は積みやすく運びやすい。子どもたちはどこに置いても、何に入っても手を出します。テストが早く終わったりすると読んでいます。本は、あればあるほどありがたい。

10年以上前に、3,4年生の副読本『わたしたちの野洲』の取材で図書館に来たことがあります。貸出日本一、というのも載せてはどうでしょうか。

【会長】コロナ禍で貸出冊数はどうなっていますか。

【館長】減っています。12月にかけて徐々に元に戻ってきたのですが、1年の合計では減っていると思います。

【会長】長倉海洋さんの写真展など、ポスターを野洲駅に貼ったり宣伝してはどうでしょうか。野洲駅は乗降客数が人口比では一番多い。

【委員】駅に行政コーナーは作れないのですか。長倉さんの写真展は自分も知らなかった。

【館長】駅のコーナーについては、担当課に頼むと、チラシなども置いてくれます。これまで大きな行事等でしか駅には置かなかったが、小さな展示でもこまめに頼むようにします。

【会長】それでは、これまでを振り返って、ご意見をお願いします。

【委員】刺激を受けられて楽しい。旅行したときに、他の図書館に寄ることがあるが、野洲図書館のことが知られていることが多い。知名度は高い。学校図書館のことが気になっています。

【委員】図書館協議会委員をして6年になるが、野洲図書館はすごい。利用されている図書館だと実感があります。

【委員】琵琶湖に近いところに住んでいます。図書館まで遠いので、図書館に行きたいけれど難しい。周りにもそういう人が多い。その声を上げられたらと思い、図書館協議会委員の申し出を受けました。

【委員】首長部局への移管の話がなくなってほっとしている。他の図書館では問題が多いが、野洲ではこれくらい。他市の図書館協議会と比べても活発だと思います。

【委員】図書館協議会は勉強になります。市長が代わって、図書館も方向性は変わるのでしょうか。市民の手に図書館があるというのは誇りです。図書館協議会がしっかり機能していれば、とんでもないことにはならないのではないかと思います。

【委員】野洲町時代の図書館も知っています。新図書館の開館は喜びだった。よい階段を上ってきていると思います。自由でオープンな方向に進んでほしい。行政の上のポジションの人たちに、この図書館が誇れるものだとして認識してほしい。さらに広がって発展してほしい。しぼんでしまっはいけない。この図書館協議会に参加できるのは喜びであり誇りです。

【委員】図書館が大好きで、図書館にできることがあればと（公募委員に）応募しました。他の方の意見も聞いて参加してよかった。私も前の図書館を知っています。今の図書館は遠いが、より開放感がある。市民が声をあげて行政を変えていかなければと実感しました。指定管理者制度については、市民が知らないところでこんな話が出ているのは怖い。図書館協議会としても注視していかなくてはいけない。市民が知らないことがあるので、図書館協議会としても情報発信していきたい。有意義な2年間でした。

【委員】昨年度から、図書館教育に関わることになりました。滋賀県の発表校となり、授業での図書館活用などもしてきました。篠原小学校の移動図書館も昨年度からはじまりました。移動図書館のときは、司書が本を見やすく配置していて、子どもたちが本を手にとってみえています。図書館協議会に参加して図書館の見方が変わってきたと思います。

【館長】職員の目線では気付かない意見・アイデアをいただけるので助かっています。いただいたご意見は実現するよう努力します。これからも図書館をよろしく願います。図書館は皆さんのものです。図書館協議員委員でなくなっても、いつでもご意見くださるよう、願います。

令和2年度 第4回図書館協議会 次第

令和3年2月21日(日)

野洲図書館 本館 フリースペース

午前10時～12時

1. 開 会
2. 議 事

- (1) 学級文庫用図書セット「としょかんBOX」巡回について
- (2) 令和2年度利用者アンケートについて
- (3) 令和3年度予算について
- (4) 令和3年度事業方針について
- (5) その他

3. 閉 会

配布資料一覧

事前送付資料

- ① 学級文庫用図書セットネーミング決定について(お知らせ)

当日配布資料

- ② 学級文庫用図書セット「としょかんBOX」報道機関への提供資料
- ③ 令和3年度予算について
- ④ 令和3年度事業方針(案)
- ⑤ 図書館だより 3月号
- ⑥ 図書館関係記事
- ⑦ 2021年度図書館カレンダー